

# 令和7年度地震・津波防災訓練 (愛媛県愛南町・内閣府)

## 実施報告書 (概要版)

### 愛媛県愛南町について

#### 概要

- 愛媛県愛南町は、南宇和郡の旧5町村が平成16年10月1日に合併し誕生した。
- 人口は令和8年2月1日時点で18,055人であり、うち65歳以上の人口は約48%である(合併時の人口は28,783人)。面積は約239km<sup>2</sup>である。
- 愛媛県の最南端に位置し、南は太平洋、西は豊後水道、東は高知県に面している。自然環境や水産資源に恵まれ、スキューバダイビングでも有名。
- 南宇和郡の北部には四国山脈から分岐した篠山支脈があり、ここから発する僧都川流域の平野部に市街地が形成されている。



#### 主な被害想定

- 南海トラフ地震が発生した場合には、震度6強の揺れと、最大16.2mの津波が想定される。
- 急峻な地形から、台風や集中豪雨による河川の氾濫、浸水、土砂災害等の被害が想定され、中山間部に位置する集落は道路が通行止めになる可能性がある。



## 訓練概要

- 訓練想定：高知県沖を震源域とする南海トラフ地震により、愛南町では震度6強を観測し、愛媛県宇和海沿岸に大津波警報を発表。
- 実施日時：【訓練実施前WS】 令和7年10月12日(日)09:00～11:30  
【地震・津波防災訓練】 令和7年11月16日(日)09:00～12:00  
【訓練実施後WS】 令和7年11月16日(日)13:30～15:00
- 主催：愛南町
- アドバイザー：国立研究開発法人防災科学技術研究所 辻岡 綾 研究員
- 参加者数：230名
- 参加機関：愛媛県社会福祉協議会、愛南町社会福祉協議会、愛媛県災害時要配慮者支援チーム、深浦地域住民、古月・鮪越・深浦(三地区)自主防災会、愛南漁業協同組合、安高水産有限会社、有限会社ハマスイ、きくち水産、田村水産有限会社、株式会社久徳水産由貴丸、株式会社明正建設
- 訓練項目：シェイクアウト訓練、津波避難訓練、避難所設置・運営訓練、福祉避難所設置・運営訓練、炊き出し訓練
- 訓練の特色：避難訓練に当たっては、漁業組合や漁業事業者の協力のもと、外国人実習生が自力での避難が困難な方の避難を支援した。福祉避難所設置・運営訓練では、要支援者本人の参加のもと、設営、スクリーニング、移送、受け入れまでの一連の動きを訓練した。

## 訓練の成果

### 【成果】

- 参加住民約170名(要配慮者13名含む)で、対象地区の住民参加率が40%を超え、地域の防災意識の高さが確認された。
- 今回の訓練は「避難所への避難」と「福祉避難所の運営」に重点を置き、現場での実践を通じて具体的な課題や改善点を把握することができた。
- 本訓練を機に、各種関係機関とのネットワーク・連携体制を構築できた。
- 今回の訓練の成果、住民からの意見を反映し、避難所ごとの運営マニュアルの整備を進めている。

### 【課題】

- 避難所運営において、受付時に住民に役割を付与するなど、主体的な参加や役割分担をより促す工夫が必要である。
- 小学生や外国人住民など多様な住民が、訓練や防災活動に参加することを促進し、多角的な視点での意見を集めることで、地域全体で防災力向上を目指すことが望まれる。

10月12日(日) 09:00～11:00 訓練実施前ワークショップ

- 住民主体の避難所の立ち上げ・運営を行う意識向上のため、訓練前ワークショップを実施した。
- 辻岡アドバイザーの講話、具体事例についての対応方針を協議するワークを実施した。
- 避難所の校舎の鍵管理、避難所内の居住区管理、靴の管理等について意見が挙げられた。

▼辻岡アドバイザーによる講話



▼参加者全員によるワーク



11月16日(日) 09:00～12:00 地震・津波防災訓練

- 避難行動要支援者の避難を補助しながら、各集落から一時避難場所、指定避難所である旧深浦小学校体育館へ移動した。
- 避難所設営では、パーティション・エアベッドを用いた居住区画の整備を行った。
- 要配慮者として個別避難計画に登録のある地域住民参加のもと、要配慮者のスクリーニング、福祉避難所への移送、受け入れを実施した。
- 地域住民コミュニティによる鯛めしおにぎりともそ汁250食の炊き出し訓練を実施した。

▼一時避難場所へ参集



▼避難所入口にて受付を実施



▼避難所内概観



▼スクリーニング訓練



▼福祉避難所への移送



▼炊き出し訓練



11月16日(日) 13:10～15:00 訓練実施後ワークショップ

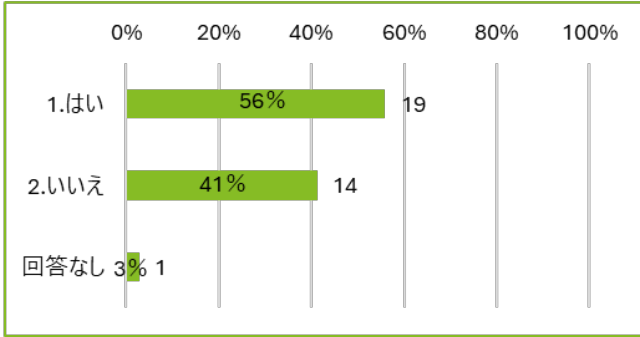
- 訓練同日に訓練の振り返り、辻岡アドバイザーの講話、今後の取り組みを検討するワークショップを実施した。
- 一時避難場所から避難所に向かう避難路の整備、受付の実施方法、レイアウト図の整備などの意見が挙げられた。

▼参加者全員によるワーク

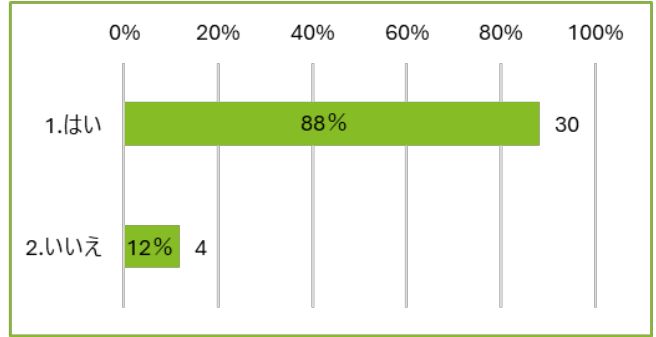


アンケート結果

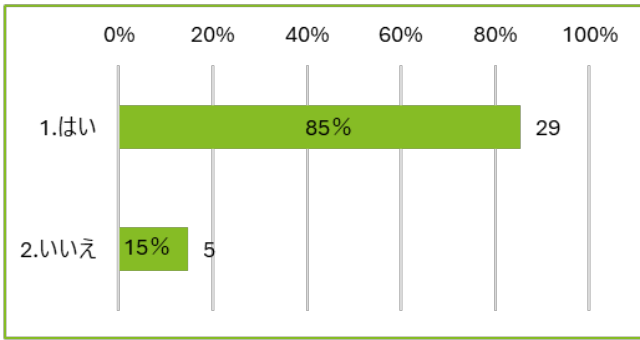
1. 11月5日が「津波防災の日」であることを知っていましたか。



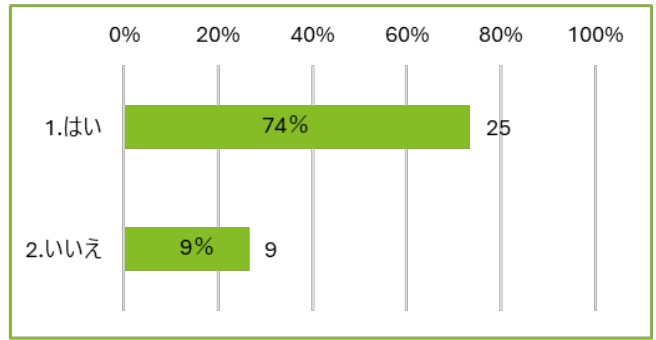
2. 町が作成している「津波ハザードマップ」を見たことはありますか。



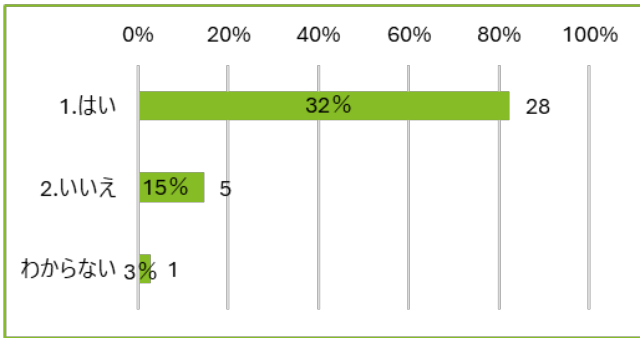
3. 災害のリスク(災害時、お住いの地域のどこに、どのような危険があるか)を知っていますか。



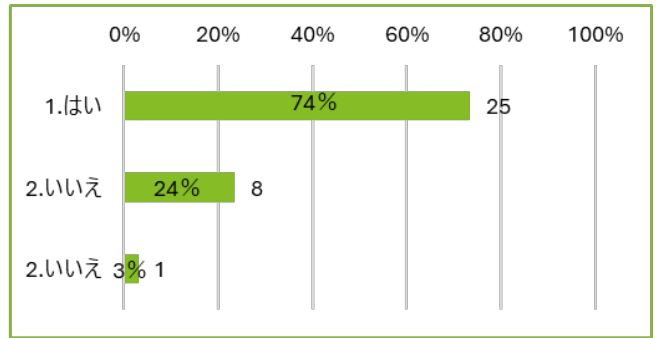
4. 災害時に家族同士で、どのように連絡を取り合うか決めてありますか。



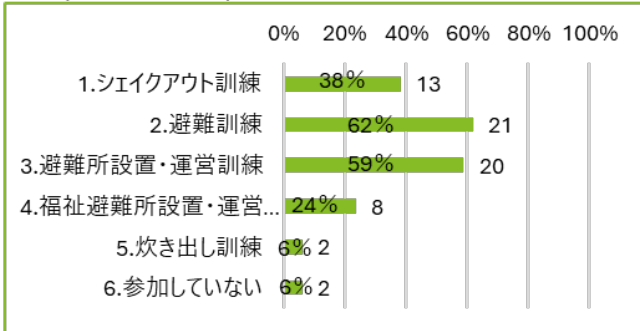
5. あなたの周囲や近所に避難行動要支援者(自力で避難することが難しく、周囲の支援が必要な方)はいますか。



6. 自宅に3日以上のお蓄品はありますか。



7. 本日の防災訓練では、どちらに参加しましたか。(複数回答可)



8. 地域の防災訓練に参加したのは初めてですか。

